

新聞記事を活用し、生き方に触れる教材研究

指定校2年次 上田市立第四中学校 岡部 仁

1 本校の新聞活用の現状

毎朝、当番の先生が職員室前のロッカーに新聞を置き、会誌編集委員の生徒が取りに来て学年の廊下に置いている。

2 実践のねらい

道徳や総合的な学習の時間に生き方に触れる記事を紹介し、自分の生き方を見直すきっかけにする。

3 研究の概要

NIEで様々な銘柄の新聞紙面を活用し、道徳にふさわしい教材を探す。さらに記事に記載されていない内容などは実際にお会いして尋ねる。

4 新聞で学ぶ実践事例

【事例1】(2年 道徳 NIE公開授業)

東日本大震災で被災した受験生に無償で授業、冬期講習、模擬テストを実施した信学会の取り組みを紹介した。なぜ無償で取り組まれたのかを生徒がインタビューをすることで何のために人は働くのかに気付き、自分の学習態度を見直さきっかけとなった。

【事例2】(2年 道徳 四中区人権同和教育の公開授業および学年集会で実施)

障害者雇用を目的とするエプソンミズベの作業環境や施設環境を紹介する。また長野県で開催されたアビリンピック全国大会に出場された向山さんの新聞記事やインタビューから苦難を乗り越え、挑戦する姿に気付かせた。

4-1 【事例1】

(1) 小単元名 「何のために人は働くのか。何のために勉強をするのか。」

(2) 主眼

職場体験を通して働くことの大変さや喜びを感じた生徒が、東日本大震災で被災し過酷な状況に追い込まれた受験生に無償で授業、冬期講習、模擬テストを実施した信学会の取り組みを知り、信学会の人たちはなぜ無償で取り組まれたのかをインタビューをすることで、何のために人は働くのかに気付き、自分の学習態度を見直さきっかけにする。

(3) 本時の位置

前時： NHKドキュメント・今村組の「復興を誓う 命のダンス」を視聴し、仮設住宅に住む中学生の生活の現状や学校生活の様子を知る。

次時： セルリアン祭に向けた職場体験発表会の準備を行う。

(4) 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	教師の手だて支援の方法	時間
導入	あなたたちは来年、受験生です。今から大変だなあと思うことは何ですか。 四中の3年生も同じことを考えていると思います。	高校に受かるかな。 勉強が大変になりそう。 不自由な生活	3.11の状況の新聞記事 仮設住宅、仮	10

	<p>高校受験は長野県だけであるわけではありません。日本中どこでも行われます。</p> <p>昨年、3月11日に東日本大震災が起きました。</p> <p>宮城県石巻市も大変な被害を受けました。</p> <p>石巻市の受験生の大変さは何だと思いますか。</p> <p>仮設住宅、仮設校舎で生活している様子の写真を見せる。どう思いますか。</p>	<p>学校がない。</p> <p>親を亡くした。</p> <p>塾に行かれない。</p> <p>こんな状況では勉強に身が入らない。</p>	<p>設校舎の写真</p>	
<p>展 開</p>	<p>大変な思いをしている受験生に「希望の木プロジェクト」が立ち上がりました。</p> <p>「()はこの冬、東日本大震災で被災した宮城県石巻市の中学3年生への学習支援に取り組んだ。教材のほか、授業を録画した映像も提供し、現地に講師も派遣。冬期講習や模擬試験も行った。</p> <p>授業は昨年11月末、石巻市の石巻専修大学を会場に開始。火曜から土曜の午後6～9時、5教科を教えた。</p> <p>講師は6人。定員100人を上回る120人ほどが受講した。ほとんどは仮設住宅に住み、親を失った生徒もいるという。</p> <p>昨年12月と今年1月には、市内中学校全21校に呼び掛けて模擬試験を実施。中学3年生約1470人のうち約500人が受けた。問題作成から、採点、個人の偏差値や順位などを出すデータ処理などは()が全て担った。2月には、希望する中学校に模試の問題用紙を配布した。」</p> <p>授業、模擬試験、冬期講習をすべて受けると一人当たり10万円かかります。実際はいくらで実施したと思いますか。</p> <p>①5千円 ②1万円 ③0円</p> <p>正解は0円。無償です。</p> <p>()には取り組んだ塾の名前が入ります。どこの県の塾だと思いますか。</p> <p>①宮城県 ②長野県 ③青森県</p> <p>長野県の信学会です。</p> <p>授業の映像は上田市で録画したものです。講師の方は上田市と長野市から派遣されました。</p> <p>今回、その方を特別にお招きしました。</p> <p>信学会の方へ生徒が質問事項をグループで考え、尋ねよう。</p> <p>※()は想定される信学会の方の回答。</p> <hr/> <p>1) 取り組まれることになったきっかけは何ですか。 (当初は模擬試験だけだったが、平均点が100点近く長野県内の生徒よりも低かったため、講師派遣をすることに決めた)</p> <p>2) なぜ無償にすることにしたのですか。 (大変な状況に置かれている受験生からお金を徴収することはできない。)</p>	<p>支援をしてくれる人たちがいるんだな。</p> <div data-bbox="951 1064 1251 1182" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習問題】 いくらで実施したと思いますか。</p> <p>5千円 1万円 0円 0円に驚く。</p> <p>宮城県 青森県 まさか長野県？</p> </div> <div data-bbox="951 1556 1251 1713" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習問題】 職場体験を思い出して信学会の方にインタビューをしよう。</p> </div> <p>どうして信学会が取り組んだんだろう。</p> <p>どうして無償にしたのかな。 なぜ遠く離れた長野県の塾が取り組むことになったのかな。</p>	<p>信学会の学習支援の新聞記事</p>	<p>30</p>

	<p>3) 大変だったことは何ですか。 (生徒たちの熱心な様子、集中している様子を見て、こちらの方が励まされた)</p> <p>4) うれしかったことは何ですか。お礼の手紙の紹介 「自宅も、学校も、親も、友達も失い、もうなにもかも諦めていました。でも、ここに来て、同じような厳しい環境で頑張っているお友達に会えました。そして、”がんばって生きなきゃ”って思いました。先生方、ほんとうにありがとうございました」</p> <p>5) 受験の結果はどうだったのですか。(全員が合格しました。)</p> <p>6) どんな基準で受講生を決めたのですか。(被災状況)</p> <p>7) 何回、石巻に行かれたのですか。(回)</p> <p>8) タブレットで勉強している、講義を聞いている受験生はどんな様子だったのですか。(とても熱心だった)</p> <p>9) 当初は模試と映像だけを発信するはずだったのですが、長野で仕事を終えてから現地に向かうために夜出発し、しかも何回も出向かれたその情熱やその行動にかき立てるものは何だったのでしょうか。</p> <p>10) 受験生の結果を聞いてどう思われましたか。(やってよかった。)</p> <p>-----</p> <p>さて、これらの取り組みがある所で評価されました。 それはどこだと思いますか。</p> <p>① 上田市教育委員会 ② 長野県庁 ③ ユネスコ</p> <p>隠した見出しを取って示す。 ユネスコで評価されました。その理由を聞かせて下さい。 (優秀な取り組みとして、タブレット端末を配信した方法が評価された)</p>	<p>大変だったことは何かな。</p> <p>うれしかったことは何かな。</p> <p>ユネスコはないだろう。 上田市教育委員会かな。</p>	<p>お礼の手紙 (希望の木プロジェクトより)</p> <p>信学会の活動 ユネスコ評価 の新聞記事</p>	
<p>ま と め</p>	<p>今後の取り組みを教えてください。 (ガレキの現状、受験生の声)</p> <p>何のために人は働くのでしょうか。何のために勉強をするのでしょうか。 そのことを含めて今日の感想を書きなさい。</p> <p>感想発表</p>	<p>まだ校舎のそばにガレキがたくさん残っているんだ。お金だけが目的で人は働いていないんだということが改めてわかりました。</p>	<p>ガレキの写真</p>	<p>10</p>

(5) 実証の観点

被災地の受験生に支援を行った信学会の取り組みを新聞記事を使って紹介したことや、実際に取り組まれた信学会の方にインタビューをしたことは、何のために働くのかに気づいたり、自分の学習態度を見直したりするきっかけにつながったか。

(6) 生徒の感想

自分が身近に通っている塾がこんなにもすごいことをしていたなんて知らなかった。被災地の写真や映像を何度も見たけど、もし自分が中学3年生であの状況にいたら、集中して勉強できないと思

います。今、自分は良い環境で勉強ができているのだから、もっとがんばらなきゃと思いました。

□私はずっと被災地の人たちはどのように勉強しているのか知らなかったのですが、長野でこんな学習支援をしているとは驚きましたし、よかったですと思いました。被災地の人たちがこんなにもがんばって勉強しているのを見て、私もがんばろうと思いました。

□多くの人が被災して勉強もできずに困っている時に長野県の塾が代表して教えに行き、全員が合格していることは、私たちにとってすごく誇りに思うことだと思った。大変な時にがんばって勉強していて私もがんばりたいと思いました。

□無料でテストなどをボランティアでやっていて大変だったり、苦労したこともあったと思うけど、被災下方のためにやっていて、とてもすごいと思いました。長野県がこのようなことをやっていて、私も長野県民としてとても光栄だと思います。このような震災があつたら、私も募金などをして協力したいです。

4-2 【事例2】

(1) 2学年の後期人権同和教育のねらい

前期ではCAP里山による基本的人権について学習した。いじめにあったとき、暴力を受けたときどう対処すればいいのか劇を見てグループで話し合い、解決方法を考えた。後期は1学期に行った職場体験を踏まえ、障害者雇用の実態と実際に企業がどのように取り組んでいるのかを知り、共に生きる「共生」の考えを持たせたい。

(2) 単元展開

1校時 障害者雇用の実態

2校時 障害者雇用の取り組みをDVD「笑顔に逢いたい。～障害を乗り越える情熱の絆～」視聴する。

3校時 本時

4校時 日本理化学工業の取り組みを学ぶ。

(3) 本時の主眼

1学期に職場体験を経験し2学期は障害者雇用の実態と積極的に雇用を行っている企業の取り組みを学んだ生徒が、諏訪市にある障害者雇用を目的とするエプソンミズベが作業環境や施設環境を整備していること、また障害に応じた職種を確保していることを知る。長野県で開催されたアビリンピック全国大会に社員の方が出場したことを紹介し、苦難を乗り越え、挑戦する姿に気付く。

(4) 授業展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	教師の手だて支援の方法	時間
導入	10月20日～22日 長野市でアビリンピックが行われました。アビリンピックを聞いたことがある人。 どんな大会か見てみます。 「アビリンピック(全国障害者技能競技大会)は満15歳以上の障害のある方々による技能競技全国大会。優勝者は概ね4年に一度開かれる国際アビリンピックの代表候補となる。障害者の職業能力に対する社会的理解を深め、雇用を促すことが主な目的である」 職業技術の日本一を競う大会です。 アビリンピックで県の選手団の主将を務めた方が向山雅士さん。向山さんは諏訪市にあるエプソンの子会社、エプソンミズベにお勤めです。	・ある。 ・ない。	アビリンピックの映像 新聞記事 エプソンミズベの写真	7

	<p>社員の方の135人中92名68%が障害のある方です。 内訳は知的障害 肢体不自由 聴覚障害 腎機能障害。 仕事はレンズ加工、電子回路接続、ランプ組み立て、インクジェットカートリッジ仕分け、ベルマーク回収などです。 向山さんは大量の部品を基板につなぎ合わせる電子回路接続の仕事をされています。</p>	<p>・障害のある方がたくさん勤めているんだ。</p>	<p>電子回路の写真</p>	
<p>展</p>	<p>さて、エプソンミズベに私は訪問してきました。障害のある方に対してどんな工夫がされているか写真を見て考えよう。</p> <p>① スロープ ② 廊下 ・手すりや自動ドア ・ドアを開いたときにぶつからないように反面鏡の設置</p> <p>③食堂 ・お金の支払いがカードで済ませることができる。 ・車いすに合わせた高さ ・汁がこぼれないように皿などがぴったりとくっつくおぼん。 ・メニューは予約制(午後の作業に支障のないように)。</p> <p>④作業所 ・用紙の数値を入力するだけで重さが自動で表示される。 ・インクジェットの数は自動で計測 ・足が疲れないようにマットが敷いてある。 ・物の定位置が決まっている。</p>	<p>・車いすで移動できる。 ・手すりある。 ・自動ドアになっている。 ・反面鏡でぶつからない工夫がされている。</p> <p>・おぼんを受け取る場所が低い。 ・カードで支払いができる。</p> <p>・自動計測できるなんて便利な機械だ。 ・仕事をしていて困らない工夫がされている。</p>	<p>施設の写真</p>	<p>13</p>
<p>開</p>	<p>金賞を目指して大会に挑んだ向山さんをご紹介します。 伊那市出身。高校3年生の時、オートバイの事故で下半身が不自由になり、車いす生活に。2年間のリハビリを経て20歳で高校を卒業。 20歳前半まで障害者スポーツに打ち込み、水泳では関東大会で優勝。車いすバスケット、車いすマラソンにも挑戦した。 そんな向山さんをどう思いますか。 2003年にエプソンミズベに入社。0.3mm単位で部品を付けることもある。 「細かい作業は苦手で、自分には向いていないと思った」 上司は「センスがある」とほめられ、 「自信と共に技術も伸びた」 過去には300時間をかけ、配線が3000本の基板を造ったこともある。 「できたという感覚にすごくやりがいを感じる」 上司から新たな目標にアビリンピックを勧められた。 種目は「電子回路接続」250個の電子部品をハンダ付けや配線をつなぎ、正しく電気が通るようにする技術を競う。3時間。越えた地点から時間の経過とともに減点。3時間半以内に完成させないと作業が打ち切られ審査されない。 「退社後、家で練習を毎日6時間した」 何時間したと思いますか。 初出場で銀メダルを手にした。本大会の競技中の写真を見せる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習課題】 向山さんが再びアビリンピックに挑戦したのはなぜだと思いますか。</p> </div>	<p>・辛かっただろうけど、スポーツに打ち込んですごい。</p> <p>・自分のため。 ・会社のため。 ・家族のため。</p>	<p>新聞記事</p> <p>大会の写真 (ホワイトリング、会場)</p>	<p>15</p>

	<p>インタビュー映像</p> <p>「今回、電子回路接続の種目に出場した向山雅士です。大会が終わってホッとしているところですけど、練習の成果をすべて出せたので、やり遂げた気持ちで、あとは結果を待つだけかな。みんな中学2年生ですね。がんばれば何でもやり遂げられると信じて、今やらなければいけないことがあると思うですね。やることや夢を持って前向きにがんばってもらえればと思っています。高校3年生の時事故で足が動かなくなっって車いす生活になったけど、前向きにやっけてきているんな方と知り合えて、周りの人に恵まれて応援もあったから大会に出られたのかな。今回の自分の大会テーマも今までお世話になった人、感謝の気持ちを込めてお礼に最高のメダルを持って帰れば、みんなも喜んでくれるかな。いろいろ中学生でも悩み事もあるかもしれないですけど、前向きにがんばって明るく生活してもらえればきっといいことがある。がんばってください」</p> <p>結果はどうなったと思いますか。 見事金賞を受賞されました。</p>		インタビュー映像	
まとめ	アビリンピックに出場された向山さんの生き方から学んだことと、自分自身のこれからの生活について書こう。発表する。	・金賞を受賞された。 障害を乗り越えがんばる姿に感動しました。私も目標を持って学校生活を送りたいと思います。		15

(5) 実証の観点

- ①施設の工夫を考えたことは、障害のある方のために働きやすい環境づくりを企業が考えていることに気付かせることに有効であったか。
- ②アビリンピックに出場した社員の方の姿を紹介したことは、苦難を乗り越え、挑戦する姿に気付かせるのに有効であったか。

(6) 生徒の感想

- 「できないことを考えるより、どうしたら楽しく生きていけるかを考えた」というポジティブな気持ちと学校に来られること、部活動ができること、勉強ができることなど全てに感謝する気持ちを持って明るく、前向きに生きていきたい。
- 英単語や漢字を書いたりするのが苦手なので、向山さんみたいに家に帰ってから練習をしてテストで良い点を取りたい。部活でも向山さんみたいにあきらめないでやって、大切な人たちにありがとうの代わりに勝って笑顔にさせたい。
- 何ごとにもあきらめないでいる向山さんを見て、自分もすごい励みになるし、何ごとにもあきらめないで全力で取り組みたいと思いました。向山さんがメッセージで言っていたように明るく前向きに生きていきたいと思いました。感謝の気持ちを常に忘れずにいたいです。

被災地の中学生を 信学会が学習支援

学校法人信学会（本部・長野市）はこの冬、東日本大震災で被災した宮城県石巻市の中学3年生への学習支援に無償で取り組んだ。教材のほか、上田市の信学会ゼミナール上田駅前校の授業を録画した映像を提供し、現地に講師も派遣。冬期講習や模擬試験も行った。宮城県は8日が公立高校の一般入試。本年度の授業は7日が最終日で、来年度も継続する計画だ。

石巻市出身で都内の塾経営者が教育関係者や通信会社KDDIに呼び掛けて始まった「希望の木プロジェクト」

授業映像提供や講師派遣



石巻専修大で勉強する石巻市の中学3年生（信学会提供）

の一環で、信学会も「本業で被災地を支援したい」と計画段階から参加した。授業は昨年11月末、石巻市の石巻専修大を会場に開始。火曜から土曜の午後6～9時、5教科を教えた。講師は信学会の1人を含め6人。定員100人を上回る120人ほどが受講した。ほとん

どは仮設住宅に住み、親を失った生徒もいるという。

昨年12月と今年1月には、市内中学校全21校に呼び掛けて模擬試験を実施。中学3年生約1470人のうち約500人が受けた。問題作成から、採点、個人の偏差値や順位などを出すデータ処理などは信学会が全て担った。2月は、希望する中学校に模試の問題用紙を配布した。同大の教室には、希望する高校3年生数人も来て自習していたという。

冬期講習で教えた信学会の常任理事で東信本部部長の小林経明さん(53)＝東御市田中＝は「子どもたちは集中して授業を受けている。さまざまな事情で勉強しにくい環境にある。今後も支援を続けたい」と話している。

(2012年3月7日付 信濃毎日新聞)

担任の岡部仁教諭(46)は、被災した中学生たちが夏は暑く冬は寒いプレハブ校舎や、部屋数が少ない仮設住宅で勉強しなければならなくなると説明。「みんなは来年、受験生になる。同じ環境に置かれたらどう感じるか」と尋ねると、生徒からは「集中できない」「受験が不安になると思う」といった声が上がった。岡部教諭は「3月7日付の信濃毎日新聞の記事を基に、ある学習塾が、被災した宮城県石巻市の中学3年生に冬期講習や模擬テストの支援をした」と紹介。「何県にある塾か」などの3択問題を付けた教材プリントを配った。10万円ほどかかるという講習費用をいくつで実施したかという問いに、生徒たちは「採算が合わないから無料は無理ではないか」「被災した人は大変だから無料にしたと思う」と意見を述べた。学習塾が信学会だと明かされ、被災地で授業をした塾講師ら4人が教室に登場。1人が「全てをボランティアでやりました」と話すと、生徒たちは驚いた様子だった。

上田・第四中 学習塾の活動紹介する記事で授業

この後、生徒たちは記事を読み込み、グループで相談して講師への質問を考えた。小池佑二さん(13)は「定員は100人だったのに、なぜ120人も受け入れたのかと質問。上田市諏訪形の市第四中学校2年3組の33人は、道徳の授業で「何のために人は働くのか、何のために勉強するのか」を考えた。県内で学習塾などを展開する学校法人信学会（本部・長野市）が、東日本大震災で被災した中学3年生の受験勉強を支援したことを紹介した新聞記事を切り口に、生徒たちは授業に訪れた塾講師らに質問。働く人の仕事への思いに触れるとともに、被災地の受験生の苦勞を知った。

直接質問して 身近に



新聞記事を基にしたプリントを使い、信学会講師らへの質問を考える生徒と岡部教諭(左)

信学会ゼミナール上田駅前校(上田市の校舎長、阿久津朋夫さん(41)は「応募があったのは、仮設住宅に住んでいたり、親を失ったりした生徒たちだったので受け入れた」と答えた。講師らは「被災地で使えなくなったり中学校を見た、何かせずにはいられなくなつた」「受講生から『つらかったけれど合格できた』とお礼の手紙をもらった時は、うれしかった」と説明。受講生は全員志望校に合格したという。

ここがポイント

教材に適時性と話題性

岡部仁教諭は、中学校生活の後半に入る2年生に「進路を意識した生活姿勢に切り替えてほしい」と願って授業をしました。新聞記事を手掛かりに計画した学習内容の設定や展開は、次の点で参考になります。一つ目は教材が適時性と話題性に富んでいることです。東日本大

震災で被災、受験準備ができずに悩む中学生に、救いの手を差し伸べる活動は、職場体験を終えて自分の進路を考え始めた上田市第四中の生徒にとって衝撃的・感動的で、心を込めて取り組みます。二つ目は地元の人が関わっている話題を選んだことです。自分たちもよく知る法人が、費用も負担

信毎NIEアドバイザーから

して社会に貢献している姿は、現実感を伴って生きる意味を考えさせてくれます。三つ目は教材化の良さです。岡部教諭は、記事に出合っ、登場する学習塾と打ち合わせ、ゲストティーチャーに招いて生徒と出会わせました。生徒は塾関係者の心意気にじかに触れ親近感を持つました。最後に別の記事で、この活動が国連教育科学文化機関(ユネスコ)

から評価されたことを伝えたことも有効でした。生徒は「自分の幸せな現実をいややなく実感した」「恵まれている自分がこれだけいいのか…」(地元の人のすてきな活動を知って誇らしい)などと、それぞれに自分の現在に寄せて考えることができました。新聞記事からスタートし、狙いに迫った授業でした。(信濃毎日新聞社NIEアドバイザー 江沢啓二)

働く思い 被災地に学ぶ

あした
はぐくむ

5 研究のまとめ

今年度でN I E実践校の指定が終了する。教科書にない、身近な人の話題が新聞記事にはある。また教師が記事を読み、短時間に紹介できる良さも新聞にある。しかし、限られた紙面のため載せられなかった除法もあるはずだ。自分の生き方を見直すところまで考えさせるには、ご本人に直接お話を伺う方がより深く人物に迫ることができると考えた。それはこれまでに宮城県の石巻日日新聞社長の近江弘一さんや伊那市の菓匠シミズの清水慎一さんのインタビューを行い、生徒の反応から実感したからだ。

事例1で信学会の方に3回の直接取材し、公開授業の当日も4名の方にお越しいただき、生の声を聞くことができた。事例2ではエプソンミズベの施設の障害のある方への配慮、工夫、会社の方針などを現地でお聞きし、アビリンピックの大会当日、向山さんにインタビューができた。いずれも紙面にはなかった情報をお聞きすることができ、授業の組み立てや発問を考える上でたいへん参考になった。毎回、このような授業で行うのは無理だが、N I Eの公開授業という場を与えて下さったおかげで研究を深めることができた。来年度以降、指定はなくなるが2年間の蓄積、ノウハウを活用していきたい。